

■米国：ISO ニューイングランド、容量市場価格低下により供給力不足の懸念

2012年3月21日付の業界紙によれば、発電容量価格の低下によりISO ニューイングランド地域の供給力維持に悪影響を与える懸念があるとUBS投資銀行が分析した。分析によれば、現在ISO ニューイングランドの発電容量価格は3.43ドル/kW・月の最低価格が設定されているが、2017年 - 2018年の供給力向けの入札より最低価格の設定が外されることなどにより、発電容量価格は0.99ドル/kW・月まで低下すると予測している。これにより、同地域では新規の電源開発が滞るだけでなく、既存のピーク用電源も廃止される可能性があるとした。ISO ニューイングランドでは、ピーク用電源を維持するため、需給上必要であるが利益を上げられない電源に対し、新たな補償を行うよう発電容量市場の変更を検討しており、UBS投資銀行は本変更が2012年末までに連邦エネルギー規制委員会（FERC）へ申請されるとの見通しを示した。